

【概要】 関係人口データを用いた様々な評価指標との相関分析

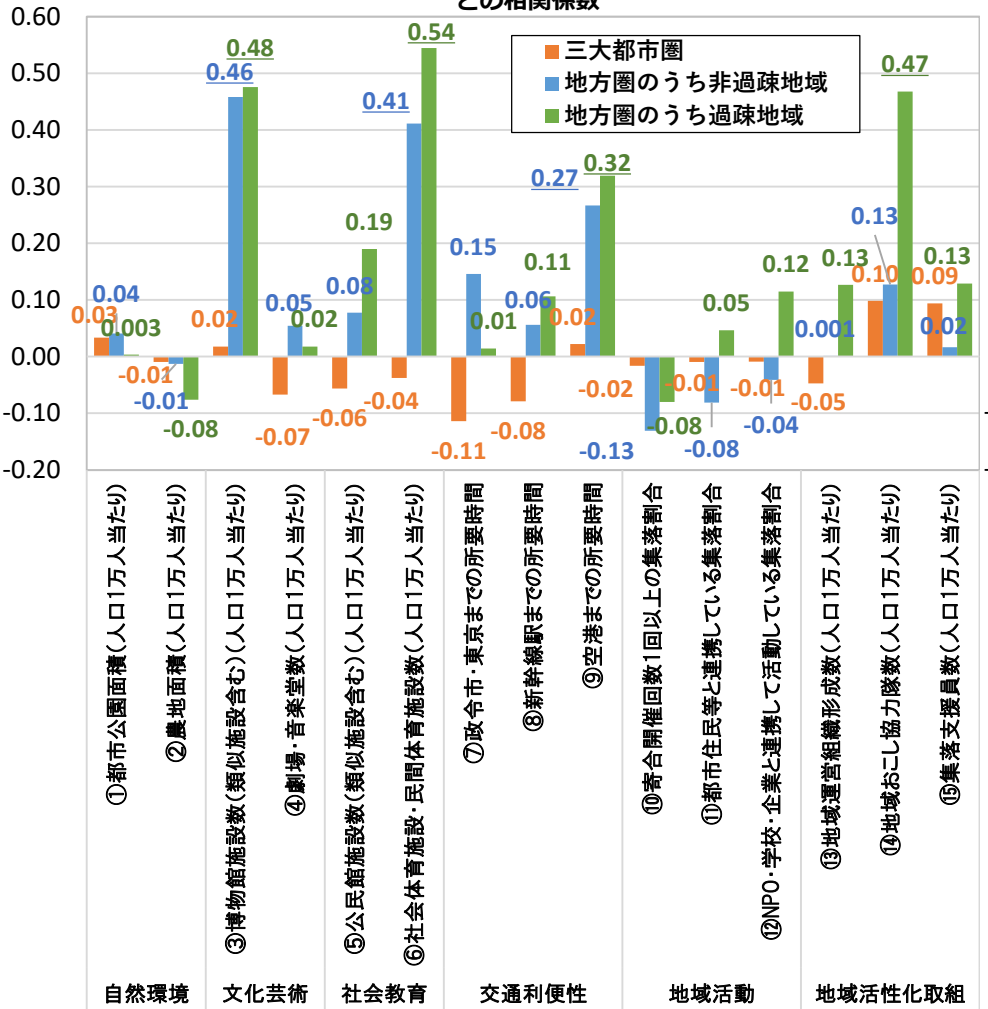
■ 調査の概要

- 市町村別の、関係人口数(人口当たり)と様々な評価指標との相関分析を行うことにより、関係人口と関係性が高いと考えられる評価指標を明らかにする。

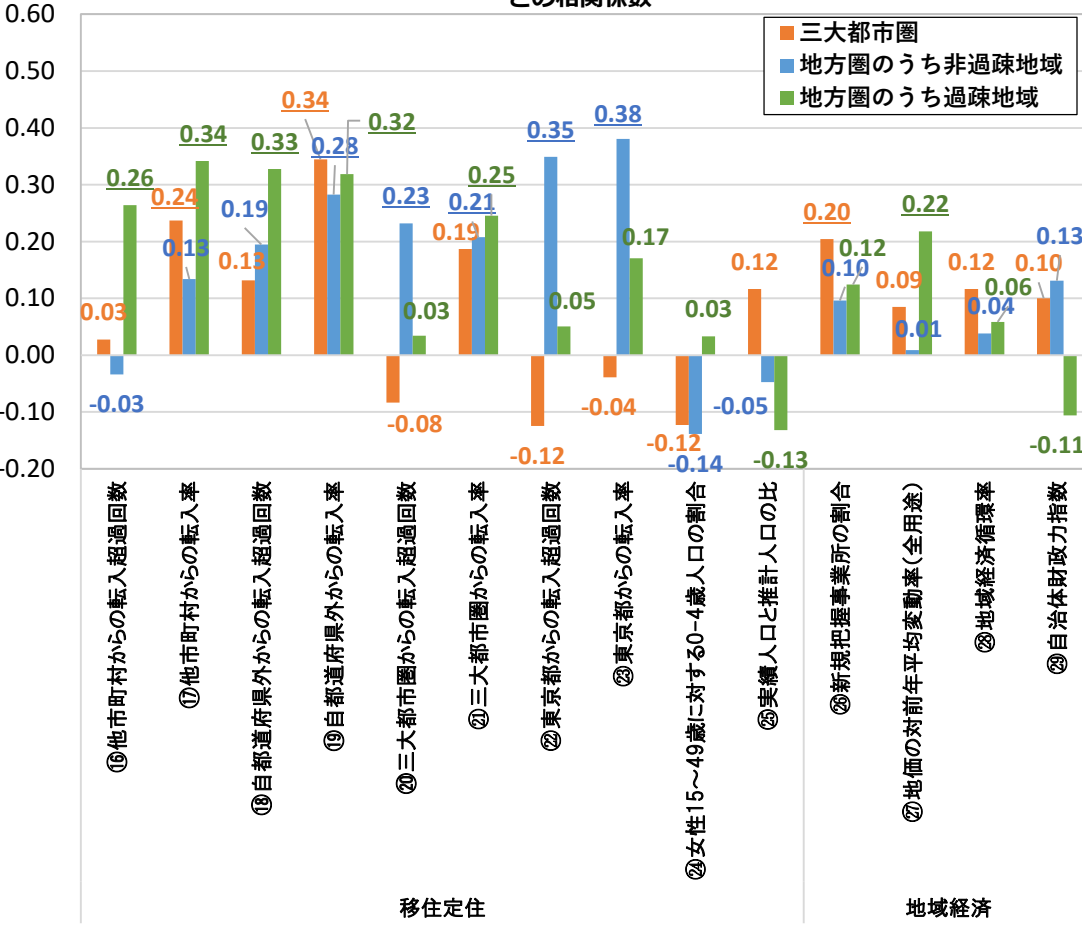
■ 結果の概要(一部のみ)

- 「③博物館施設数(類似施設含む)」や「⑥社会体育施設・民間体育施設数」では地方圏において相関係数が比較的高く、「⑭地域おこし協力隊数」では地方圏のうち過疎地域において相関係数が比較的高くなっている。(グラフ①)。 → 関係人口を呼び込む要素となっている可能性がある。
- 転入率や転入超過回数の指標において地方圏を中心に一定の相関関係がみられるものがある。(グラフ②) → 関係人口と移住には一定の関係性があることが示唆される。

① 関係人口(訪問系)とアクティビティ指標(関係人口の創出・拡大に寄与する要素)との相関係数



② 関係人口(訪問系)とアウトカム指標(関係人口の創出・拡大による地域へ効果)との相関係数



(注) 相関係数が絶対値0.2以上の場合(一定の相関関係がみられる)、相関係数のラベルを下線表示している。